

小児用インフルエンザの接種について

インフルエンザは、急性呼吸器感染症、発熱、悪寒、頭痛、筋肉痛などの全身症状が突然現れます。潜伏期間は24～72時間です。呼吸器症状は遅れて出現することが多く、鼻閉、咽頭痛、せきなどです。合併症がなければ2～7日で治癒しますが、肺炎や脳症を併発した場合、重症化しやすく危篤となる場合があります。

国内流行期が通常12月末から翌年3月頃ですので、重症化を防ぐためにも12月中旬までには接種を完了しておきましょう。

接種回数／スケジュール

【接種開始年齢：生後6カ月～13歳未満】

2回／1回目接種後、2～4週間の間隔をあける

【接種開始年齢：13歳以上～高校3年生相当年齢の方】

1回のみ

助成金額と助成期間

【助成金額】

1回につき1,000円

※生活保護受給者世帯の方は、健康づくり課での免除券申請が必要となりますのでご連絡ください。

【助成期間】

10月1日から翌年1月31日まで

予防接種を受けることができない方

- ① 明らかに発熱している方(通常は37.5℃を超える場合)
- ② 重い急性疾患にかかっている方
- ③ インフルエンザワクチンに含まれている成分(鶏卵・鶏肉)によってアナフィラキシー(通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応のこと)をおこしたことがある方
- ④ その他、かかりつけの医師に予防接種を受けないほうがよいといわれた方

予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなければならない方

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある方
- ② 過去にけいれん(ひきつけ)をおこしたことがある方
- ③ 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方もしくは近親者に先天性免疫不全症の者がいる方
- ④ 間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患を有する方
- ⑤ インフルエンザワクチンの成分(鶏卵・鶏肉)に対してアレルギーをおこすおそれのある方

予防接種を受けた後の注意

- ① 接種後30分間は、ショックやアナフィラキシーが起こることがありますので、医師とすぐ連絡がとれるようにしておきましょう。
- ② 接種後に高熱やけいれんなどの異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- ③ 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は問題ありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- ④ 接種当日は激しい運動はさけてください。その他はいつも通りの生活で結構です。
- ⑤ 健康被害(入院が必要な程度の疾患や障害)が生じた場合については、健康被害を受けた人または家族が独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づいて救済手続きを行うことになります。